

和歌山病院 ニュース

第23号

2009年1月発行

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

【安心と信頼をいただける病院】

をめざします。



発行元

独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>



美浜町・煙樹ヶ浜より望む新年の朝日

目 次

- ◆ 病院長より新年のごあいさつ..... 2
- ◆ 経腸栄養について..... 2
- ◆ インフルエンザの予防について..... 3
- ◆ 職場紹介（リハビリテーション科）..... 3
- ◆ 外来診療担当表..... 4
- ◆ 病診連携医院のご紹介（第9回）..... 4

地域医療連携の取り組みについて

当院は地域医療支援病院として、地域における様々な地域医療連携の取り組みを行っており、その活動の一端をご紹介します。

近隣の老健施設等との協力関係の強化について

当院ではかねてから病診連携・病病連携を図ってきておりますが、最近の社会情勢として、こうした医療機関だけではなく老人保健施設・特別養護老人ホームなどの介護保険施設から紹介を受けることや、退院時に当院から施設を紹介することが増えてきています。

このような状況を踏まえ、患者様の紹介・逆紹介について、よりいっそう円滑に進められるよう、近隣各施設を訪問し、当院と協力医療機関の契約や相互協力の強化を提案させていただいているところです。

これまで訪問させていただいた施設におかれましては、いずれもたいへん丁寧に対応いただき感謝しています。今後とも、患者様のためにさらに細やかなフォローができるように努めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



「看看連携研修会」を実施しています

病院と地域の看護の連携を深める目的で開催している看看連携研修会。7月30日に開催した第10回では、注入・インシュリン注射の継続が必要な患者さんの事例を通し、「施設と病院との看看連携について」というテーマで実施しました。近年、医療処置の継続を施設に依頼するケースが多くなっています。施設への退院にあたり調整や連携不足から、いつくかの不備を生じることがありました。これらの反省点から、「退院前の担当者会議をできる限り実施していく」ことの必要性

について施設看護師の方々と共通認識を持つことができました。



また、諸施設の現状を聞かせてもらうことができたことも今後の連携に活かしていける有意義な研修会になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ナイスハートパスについて

当院循環器科では冠動脈インターベンション後の患者様が安全に継続した診療が受けられるように、「かかりつけ医」の先生と和歌山病院の連携を目的としたナイスハートパス（PCI後地域連携パス）を作成、昨年9月より運用開始しています。

現在25名、11の医療機関にてパスが使用中もしくは使用されました。使用された患者様からは「安心する」「主治医が2人いるような気がする」等の意見を頂いています。

今後はバリエーション分析や地域の先生方の意見を参考にパスの修正を行う予定です。



インフルエンザの予防について

国立感染症研究所感染症情報センターから発信されるインフルエンザ流行情報では、和歌山県には、今年はまだ注意報は出ていません。しかし、まだまだ油断できない季節が続きます。

インフルエンザの予防に欠かせないのが、「手洗い」と「うがい」と咳をしたときにウイルスの飛散を防ぐ「マスク」の着用です。手洗いやうがいについてはテレビなどでもよく言われていますが、最近は「咳エチケット」という対策も一般的に実施されるようになって来ました。咳をしたときの飛沫物は約1～1.5m浮遊し、直接周囲の人の呼吸器に侵入してウイルス感染を起こす原因となります。

当院では、外来受診で咳をしている方にはマスクをお渡しして咳エチケットを実施していただくようにしています。マスクがないときには、タオルやハンカチで口を覆うことも効果がありますので、ぜひ実践してください。



厚生労働省ホームページ「インフルエンザ対策関連情報」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/>

職場紹介

～リハビリテーション科～

当院のリハビリテーション科は、理学療法士3名とリハビリテーション科医長1名で日常の診療業務に従事しています。

当院は呼吸器リハビリテーションⅠ、運動器リハビリテーションⅠ、脳血管疾患等リハビリテーションⅢ、障害児(者)リハビリテーションの施設基準を取得しています。リハビリテーション科の主な対象疾患は、政策医療の一部である呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患、胸部外科術前後等）、重症心身障害児(者)、神経・筋疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症等の神経難病）や脳血管疾患などで、これらの患者様に対して医師の処方に基づきそれぞれの障害を評価し、目標達成に向けて種々の理学療法（関節運動学を考慮しながら極力痛みを誘発しないような運動療法や高次脳機能障害を考慮した理学療法など）を実施しています。

特に呼吸器リハビリテーションについては、呼吸器専門の医師が中心となり病棟看護師やその他のコメディカルスタッフがチームとして呼吸器クリティカルパスに取り組んでおり、私たち理学療法士も呼吸理学療法に積極的に取り組んでいます。



外来診療担当表

平成21年1月1日現在

		月	火	水	木	金
総合外来	1 診	前部屋	伊 藤	—	前部屋	—
外 科	2 診	栗 山	前部屋	担当医	前部屋	有 本
乳腺外来		—	前部屋(午後)	—	—	—
循環器科	3 診	楠 山	石 井	担当医	楠 山	水 越
	5 診	豊 田	猪 野	—	猪 野	豊 田
	6 診	石 井	—	—	—	—
神経内科	6 診	—	—	河本 (隔週) 三輪 (隔週)	—	河 本
呼吸器センター	初 診	14 診	柳 本	川邊(和)	田 中	小 野
		15 診	—	—	乾	赤 松
	予約診	15 診	—	—	—	—
		16 診	駿 田	小 野	柳 本	乾
	専門外来(午後)	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	—	睡眠外来 駿田(初診)
		—	禁煙外来・肺がん検診 乾	—	—	—
		—	—	COPD外来 担当医	—	—
放射線科		—	診断医 (予約制)	—	診断医 (予約制)	—

※放射線治療医につきましては月ごとに変わるため、電話にてお尋ねください。

検 査 室	超音波室	—	—	腹部エコー	心エコー	心エコー
	機能検査室	—	心機能検査	—	心機能検査	心機能検査
	内視鏡	消化管 気管支	大腸カメラ 気管支	—	—	—

- 一. 受付時間 8時30分から11時30分
 - 二. 診療時間 8時30分から17時00分
急患については、この限りではありません。
 - 三. 再診については原則、予約制にしております。
- 電話 (0738) 22-3256【代表】

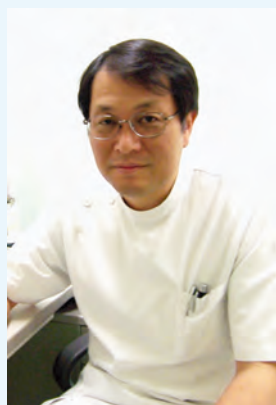
院長／楠山 良雄
副院長／駿田 直俊(和歌山県立医科大学臨床准教授)
診療部長(外科系)／前部屋 進自
(和歌山県立医科大学臨床教授)
診療部長(内科系)／乾 宏行(呼吸器センター長兼任)

病診連携医院のご紹介(第9回)

～田中クリニック 田中宏昭先生～

- 診療科目 内科・小児科
- 所在地 〒644-0002 御坊市藺271
- 電 話 0738(22)8800

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～11:00	○	○	○	○	○	○	／
午後0:30～3:00	○	○	○	～0:30	○	～0:30	／
午後5:00～7:00	○	○	○	／	○	／	／



医院について(自己紹介)—もともと私の専門は呼吸器内科ですが、地域に根ざした開業医として、内科一般ならどんな患者さんでも診れるようにしたいと思っています。

また、患者さんと接するうえでは、患者さんのお話を時間の許す限りよく聞くこと、治療にあたっては、納得していただけるように説明することを心がけています。

その他力を入れていることなど—やはり病院との密な連携をとること。当地域にある各病院と、連携体制を築くことが、患者さんの利益にも繋がると思います。



地域医療連携室より—快く取材を受けてくださり、一つひとつ丁寧にお話しいただいた田中先生。日々の診療の様子が垣間見られるようでした。和歌山病院としても、開業医の先生方、そして何より患者さんの利用しやすい、スムーズな連携体制を維持・発展させていきたいと思っています。